

編集後記

2019-20年度の編集委員発行幹事として、大変お世話になりました。不慣れな点が多く、時にはご迷惑をおかけしてしまいましたが、その一方で様々な方々の協力、サポート、励ましがあり、無事2年間務め上げることができました。本当にありがとうございました。実は、学生の時分からプラズマに関する研究を行ってききましたが、プラズマ・核融合学会にはこれまで縁がなく、この編集委員会をきっかけとして入会させていただくことになりました。そもそも誌面をよく知らないような状況での幹事の担当でしたが、何事も経験ですので、まずはチャレンジさせていただきました。その結果、微力ながら力になれたのではないかと思います。これまでは応用物理学会を中心に活動していて、主にプラズマエレクトロニクス分科会で活動してきたため、すでにプラズマ・核融合学会に多くの顔馴染みの方々が関わっており、本編集委員会にそれほどバリアなくスムーズに関わることができました。その中でも普段お付き合いが少ない高温プラズマの関係の方々と一緒に仕事をすることができ、今後別の機会では何かのタネになればと期待しています。任期全体を振り返ると、昨今のCOVID-19ウイルスによる社会環境の変化により、2年の任期のうちの1年半程度がリモートでの会議が中心となりました。おそらく歴代の編集委員幹事の中で最もリモート会議を経験したと思います。今後は、わざわざ現場まで行かなくてよいという最大のメリットを生かして現場での会議とうまくミックスし、作業の効率化をしながら、誌面の充実を図っていただきたいと思っています。(小川大輔)

2年間の編集委員と内1年間は企画幹事を務めさせていただきました。委員長、委員の先生方、事務局の皆様のお力添えをいただいたおかげで何とか勤め上げることができました。また、私の企画記事の執筆を快諾くださった先生方へ、この場を借りてお礼申し上げます。

幹事として委員会に参加・運営することは、私にとって大変貴重な経験になりました。学会で取り扱う研究領域は広く、企画記事の議論では、自分自身の勉強不足を再認識することができました。同時に、委員会で議論が盛り上がるような雰囲気づくりのため、やや切り込み隊長的に多くの質問をさせていただきました。結果として、的外れで要領を得ていない質問が多くなりご担当の先生方にはご迷惑をおかけしました。大変失礼いたしました。

さて、このような貴重な異分野研究の場ですが、昨今の新型コロナウイルス蔓延防止のため、今年度の委員会はすべてオンラインでの実施となりました。委員は若手研究者が務めることが多く、委員会やその後の打ち上げで委員同士の横のつながりを形成できるのが編集委員会のメリットですが、そのような場を持てなかったことは大変残念です。まだ新型コロナウイルスの抑え込みに成功したような状況ではありませんが、編集委員会の開催方法を工夫して若手同士の交流(飲み会)が増えればと思います。

プラズマ・核融合研究は広い研究領域をカバーしており、様々な背景の研究者が同居してよい研究領域だと思います(私自身も一度核融合研究からドロップアウトしましたが、境界領域を見つけて戻ることができました)。本誌の企画による研究の発信がプラズマ・核融合研究者の交流を生み、今後も学会全体が盛り上がることを期待しています。(小林 真)

プラズマ・核融合学会 役員

会 長：竹入康彦
副会長：安藤 晃 (推薦委員長：学会賞， 研究部会連絡会委員長) 米田仁紀 (推薦委員長：研究助成， 男女共同参画委員長)
常務理事：市口勝治 (総務委員長)
理 事：荒巻光利 (編集委員長) 出射 浩 大勢持光一 (財務委員長) 金子俊郎 (企画委員長)
木戸修一 兒玉了祐 小西哲之 白藤 立
花田鷹砂也 林 伸彦 (広報委員長) 藤田隆明 横峯健彦
渡邊隆行 (企業展示検討委員長， 支部・地区研究連絡委員長) 和田 元 (年会運営委員長)
監 事：前田達志， 立松芳典

プラズマ・核融合学会 領域長

基礎 荒巻光利(日大) 応用 渡邊隆行(九大) 核融合プラズマ 藤田隆明(名大) プラズマ炉工学 小西哲之(京大)

プラズマ・核融合学会誌編集委員会

編集委員長・チーフエディタ：荒巻光利(日大) 副委員長：出射 浩(九大)
エディタ：古閑一憲(九大)， 比村治彦(京都工繊大)， 波多野雄治(富山大)， 重森啓介(阪大)， 藤田隆明(名大)， 村上定義(京大)
編集委員：安倍勇輝(阪大)， 諫山翔伍(九大)， 板垣宏知(産総研)， 井戸 毅(九大)， 上野一磨(中京大)， 占部継一郎(京大)， 枝尾祐希(量研)， 呉 準席(大阪市大)， 大谷芳明(量研)， 加藤雄人(東北大)， 河村学思(核融合研)， 小林政弘(核融合研)， 近藤康太郎(量研)， 佐久間一行(弓削商船高専)， 佐藤直木(東大)， 柴田崇統(高エネ研)， 鈴木陽香(名大)， 辻井直人(東大)， 中村浩隆(阪大)， 畑 昌育(量研)， 藤原 大(核融合研)， 前山伸也(名大)， 水口直紀(核融合研)， 向井啓祐(京大)， 本村大成(産総研)， 森高外征雄(核融合研)， 矢嶋美幸(核融合研)

乱丁・落丁本は、ご面倒ですが学会編集委員会宛ご送付ください。送料当方負担にてお取り替えいたします。

プラズマ・核融合学会誌第97巻第8号

編集・発行
〒464-0075 名古屋市中種区内山3丁目1-1 4階 印刷 株式会社荒川印刷
一般社団法人 プラズマ・核融合学会 編集委員会 2021年(令和3年)8月25日
Tel. 052-735-3185 Fax. 052-735-3485
E-mail: plasma@jspfor.jp URL: http://www.jspfor.jp/ 定価1,430円(本体1,300円)

本誌に掲載された寄稿等の著作権は一般社団法人プラズマ・核融合学会が所有しています。